

JAグループ鳥取自己改革推進レポート（7月号）

1. JA全農とっりの取り組み

① 鳥取すいかセレモニーを開催

6月4日に、毎年恒例となる鳥取すいかのセレモニーを大阪市中央卸売市場にて開催した。

本年もコロナ禍により、鳥取開場と大阪会場をリモートで中継しての開催となった。鳥取の産地の熱い思いを市場関係者へしっかりとPRし販売促進を図った。



② 鳥取すいかPR

6月9日、エフエム東京管内6番組のパーソナリティから鳥取すいかを紹介していただき、プレゼント企画として各番組のツイッターアカウントおよび本会「全農広報部 食農応援」アカウントで鳥取すいかのPR活動を行った。

6月20日には、「鳥取すいかオンライン収穫」を開催した。Instagramの「鳥取くだもの応援隊」アカウントを通じて参加者を募集し、抽選で3組のご家族に参加いただいた。オンラインで生産者と参加者を繋ぎ、オンライン上で収穫体験をしていただいた。新たな需要の開拓に向けた取り組みとなった。



2. J A鳥取信連の取り組み

J Aカード推進イベント開催

6月15日、直売所“ハワイ夢マート”でJ Aカード推進イベントを実施した。

同直売所はJ A鳥取中央羽合支所と同じ敷地内に立地し、山陰道を降りてすぐという交通のアクセスもいいことから旬の農産物を求めて遠方から多くの方が訪れる。イベント当日も県東部の鳥取市、岩美町などにお住まいの方が、最盛期の「大原トマト」を買い求めにいられていた。

今回のイベントには、J A鳥取中央本所と羽合支所の金融課・共済課の職員、本会の職員が参加しイベントを盛り上げた。2時間の実施で予約9件のうち6件（6月30日時点）成約に結び付けることができ、アンケートも77枚回収することができた。（成約は、羽合支所：3件、大栄支所1件、倉吉支所1件、北条支所1件）

イベント終了後、羽合支所の穂久金融課長からは、「これまで共済課と一緒に何かに取り組みという機会が少なかったが、今回のイベントで店舗が一体となって取り組めたことがよかった。」と、支所職員が一丸となって取り組む大切さを実感したイベントとなった。



3. J A 共済連鳥取の取り組み

鳥取大学および公立鳥取環境大学への「星空舞」の寄贈について

J A 共済では、コロナ禍で経済的に影響を受けている県内の大学生を支援するため、鳥取大学および公立鳥取環境大学へ「星空舞」合計1,200袋(2kg/袋)を寄贈した。

寄贈先の大学からは「当大学には県外出身の学生が多く在籍しており、このお米を食べてもらい、鳥取県の農業や地域へ関心を持っていただきたい。」といった感想をいただいた。

今後もJ A 共済では、地域の発展・振興に役立つような地域貢献活動を行っていく。



鳥取大学への寄贈式の様子(6月30日)

左から森山本部長、影井会長、中島学長、田村理事



公立鳥取環境大学への寄贈式の様子(7月7日)

左から森山本部長、学生代表の川口さん、江崎学長

以上